

様式代号(第5条関係)

平成22年11月5日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 橋場 利勝 様

栗山町議会議員 大平 逸男

このたび、政務調査のため出張しましたので次とおり報告します。

日 時	平成22年11月5日
視 察 先	札幌コンベンションセンター
視察項目	市町村議会議員研修会
提言者	講師 平岡 和久 (立命館大学教授) 「地域主権」改革と一括交付金化問題
報告事項	講演の要旨 第1講 地方自治と地方財政の基本的仕組み 自治体とは何か、から始まり国庫補助金負担金の仕組み・地方交付税の仕組み・意義・算定などについて非常に内容の濃い講義でした。 特に地方交付税の財政調整の必要性について勉強になりました。 第2講 分権改革の流れと地方財政改革 旧政権下での地方行財政改革 まちづくり交付金の問題点についてのお話が印象に残り財政の難しさを感じました。 又、ポスト小泉内閣における地方財政改革・新政権下における政府予算の特徴、など具体的な内容の講義でした。 第3講 「地域主権改革」と一括交付金化問題 地域主権戦略大綱の概要10項目の解説・ひも付き補助金の廃止と一括交付金化・一括交付金化の輪点について、菅内閣における平成23年度概算要求についての解説がありました。 終わりに、地方財政改革のあるべき方向性についての提言がありました。 、地方財政の仕組みをはじめとし、国も地方も非常に厳しい財政下の元での地方自治体の運営の難しさを実感致しました。本町では、第5次総合計画の後期計画が12月定例で可決成立しましたが、今後の交付税の動向によっては、非常に厳しいものがあります。住民皆様の貴重な税金を預かり、それを如何に効率よくそして公平に使われて行くのか、しっかりと議論を重ねると共に、それらをきちんと監視して行くのが議会人の使命であることをつくづく感じた1日でした。